



つなぐ50年 輝く 未来へ ～市制施行50周年～ ⑩

昨年度、守山市制施行50周年をPRするために市内の中学生が集まり、PRソングである「愛ラブ守山～守山やのに山ねーじゃん～」をつくりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で記念事業は延伸となりましたが、新たな仲間を募って、市内在住・在学の中高校生14人が「愛

昭和45年に誕生した本市は、令和2年7月1日に市制施行50周年を迎えました。さまざまな記念事業が延伸となっていますが、「新型コロナに負けない！50周年」として市民の皆さまにメッセージを届けます。

守山市制施行50周年記念事業推進委員会事務局(企画政策課内) ☎・☎(582)1162 📠(582)0539

ラブ守山」PR応援団員として任命を受けて再出発し、パワフルに活動中です(Instagramで活動の様子を発信)。

新型コロナウイルス感染症の影響は現在も続いており、活動は制限されていますが、PRソングの宣伝や各種イベントの参加など、今年の記念事業に向けて、さまざまな企画を計画しています。



PRソング動画



Instagramはこちら

新型コロナに負けない！50周年

◇「愛ラブ守山」PR応援団の活動テーマはM3

私たち「愛ラブ守山」PR応援団は、市制施行50周年記念事業を皆さんと一緒に盛り上げるため「M3(Mもりやま Mもっと Mもりあげる)」を活動テーマにしています。

現在は新型コロナウイルス感染症の影響で私たちの活動も思うようにできませんが、みんなが大変な時だからこそ、私たちが守山市を盛り上げ、未来をつかっていきたいと思っています。



3つのMで

活動テーマ **M3**
Mもりやま Mもっと Mもりあげる

◇私たちは、こんな活動をしています

市制施行50周年をPRするためパワフルに活動しています。

昨年度制作したPRソング「愛ラブ守山～守山やのに山ねーじゃん～」を挿入した50周年PR動画を上げようとSNSなどで発信しています。PR動画は図書館など公共施設などでも流れています。

そのほか、さまざまなイベントの会場で50周年やPRソングを宣伝するなど、できる範囲内で積極的に活動しています。その様子はInstagramにアップしていますので、私々と守山市をぜひ応援してください。



盛り上がろう 盛り上げよう

◇50年前の守山のことを知りたい！

守山市が誕生した50年前はどんなまちだったのかな……。未来をつかっていく私たちは、昔の守山市のことを聞く活動の一環として、「おじいちゃんに突撃インタビュー」も企画しました。

まずは、「愛ラブ守山」PR応援団員の上田 愛結さんと川那辺 紗名さんが、自身のおじいちゃんから守山市が誕生したころの話を聞きました。

上田 愛結さんのひいおじいちゃん編

●今の守山についてどう思いますか？

本当に大きな街になったなと実感します。地域活動が活発になり、地域ぐるみで子どもを守るために意識がすごく高くなったと思います。

●50年後の守山はどうなっていると思いますか？

長寿社会になっていく中で、すべての年齢の人が支え合える守山になってほしいと思います。「守山に住んでよかった」と思ってもらえるまちになってほしいです。

●私たちPR応援団にひとこと！

若い世代の発想は素晴らしい！これからの活動を応援しています。



川那辺 紗名さんのおじいちゃん編

●市になった時の気持ちはどうでしたか？

ちょうど20歳の時でした。市のイメージは都会だったので、大津市と同じような都会になるんやなあ、と感じたことを覚えています。市税が上がる心配もしました。

●50年前とどう変わりましたか？

50年前は道幅も狭かった。駅は木造だった。今は道路は整備され駅もきれい。電車の本数も増えた。そういう発展が反映されて住宅・マンションも人も増え、にぎやかになったと思います。

●私たちPR応援団にひとこと！

若い子どもたちがPRしてくれることはうれしいし必要なこと。孫に話を聞いてもらえるのもうれしい。今後も活動してほしいです。



50年前の守山について祖父にインタビューする川那辺さん